

おのだい図書館リニューアル記念 気軽に立ち寄って、本と出会う 新しくなった図書館へ行こう!



尾道市立大学附属図書館が、9月26日(土)に開館します。

新しい図書館は、大学で学ぶ学生のための場所であるとともに、市民の皆さんにとっても、さまざまな本や知識に出会える新しい学びの場です。

気になることを調べたいとき、じっくり本を読みたいとき、静かな場所で考えごとをしたいときにも、気軽に立ち寄れる図書館としてご利用ください。

尾道市立大学((代表) ☎0848-22-8311)



落ち着いたレンガ調の外観

リニューアルのポイント

面積・収蔵能力



3,114.65㎡
旧館の約3.2倍
25万冊
旧館より10万冊増

多様な室内空間



会議室・研修室
ラーニングcommons
グループ学習室
個人学習室
サイレントルーム

バリアフリー設備の充実



バリアフリースイレ
エレベーター
思いやり駐車場
マップの点字表示



開放的な閲覧スペース



ラーニングcommons



久山田水源を望む席

階を上がるごとに、より集中できる学習空間へ



3階

本の森

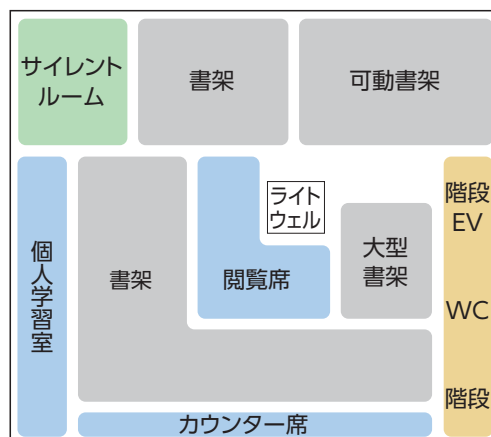


個人席を多く配置し、一人で集中できる空間です。

【資料ジャンル】
哲学・歴史・芸術・
言語・文学・洋書・
雑誌バックナンバー・大型本



個人学習室



2階

学びの広場

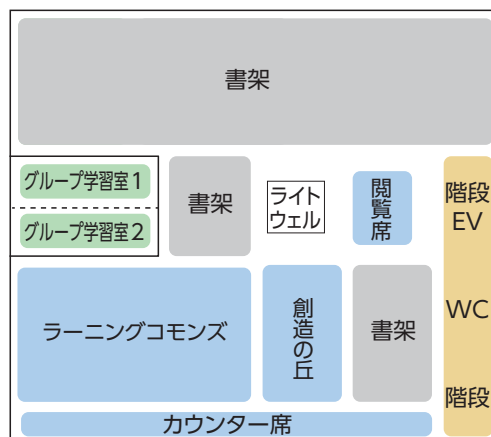


ラーニングcommonsをはじめ、グループで学ぶことができる空間です。

【資料ジャンル】
総記・社会科学・
自然科学・工学・
産業・文庫・新書・
参考図書



グループ学習室



1階

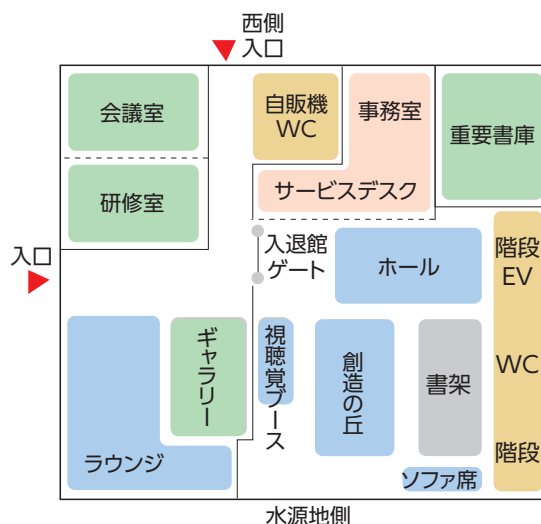
未知との出会い

新しい情報との出会い、学生と市民、学科を越えた学生の交流を促す空間です。

【資料ジャンル】
新着本・大学関連
図書・尾道関連図
書・漫画・絵本・雑
誌・視聴覚資料



ラウンジ



基本情報

住所 久山田町1600番地2

電話 ☎0848-22-8311

開館時間

授業期間 平 日：8:45～20:00

土・日曜：8:45～17:00

祝日：閉館（授業日は開館）

休業期間 平 日：8:45～17:00

土・日・祝日：閉館



施設の利用・本の貸出について

- ・施設は、学内外問わず、どなたでもご利用いただけます。
- ・小学生以下は保護者の同伴が必要です。
- ・利用の際は、学生・教職員の教育・研究環境の保全にご配慮をお願いします。
- ・本の貸出は、尾道市に在住か通勤・通学している人が対象です。
- ・貸出冊数は3冊以内、貸出期間は2週間です。（延長不可）
- ・利用者登録が必要です。受付で住所が確認できるものを提示して申請してください。
- ・その他にも注意事項があります。詳しくはHPでご確認ください。



▲HP

コラム



その疑問、 AIじゃなくて本で調べてみませんか？

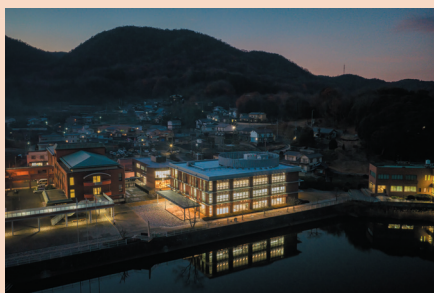


今は、AIを使って気になることをすぐに調べられる時代です。知りたいことの入口として、AIはとても便利な道具です。短い時間で概要をつかんだり、疑問を言い換えて何度も聞いたりできるため、調べものの第一歩として活用している人も多いのではないのでしょうか。

一方で、図書館の本には、AIとは違った良さがあります。本は、著者が長い時間をかけてまとめた知識や考え方が、一冊の中に体系的に整理されています。情報の出どころも明確で、背景や経緯を含めてじっくり確かめながら読むことができます。ひとつのテーマを深く知りたいときや、正確に理解したいときには、とても心強い存在です。

たとえば、AIで気になるテーマの概要をつかみ、そのあとで図書館の本を手にとって詳しく調べてみる。そんな使い方もおすすめです。すばやく調べたいときはAI、じっくり確かめたいときは図書館の本。どちらか一方ではなく、それぞれの良さを生かして使うことで、調べものはもっと豊かになります。

尾道市立大学附属図書館では、こうした「深い学び」のきっかけとなる本や資料に出会うことができます。知りたいことを確かめたいとき、新しい視点を見つけたいとき、ぜひ図書館の本にも目を向けてみてください。





オープニングイベント

日 9月26日(土)

10:00～

開館式典・愛称お披露目

料 無料 申 不要

○「『表現する』ということ」 湊かなえさん ワークショップ

時 11:00～ 場 尾道市立大学図書館2階

※ワークショップ終了後、記念サイン会

事前課題として、尾道水道の四季折々の写真をモチーフに、学生個々の発想から小説の1シーンとして文章表現したものを、本ワークショップにおいて、参加者が考察します。

プロフィール

1973年、広島県生まれ。

デビュー作『告白』は2008年「週刊文春ミステリーベスト10」第1位、2009年本屋大賞を受賞。2014年にはアメリカ「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙のミステリーベスト10に、2015年には全米図書館協会アレックス賞に選ばれた。

2012年『望郷、海の星』で日本推理作家協会賞短編部門受賞。

2016年『ユートピア』で山本周五郎賞受賞。

2018年『贖罪』がエドガー賞(ペーパーバック・オリジナル部門)候補となる。

近刊に『人間標本』『C線上のアリア』『暁星』などがある。

2026年7月23日『王国』刊行



撮影/山口宏之

○「漫画・アニメ・ゲームなどの 日本IPグローバル映像化の未来」 藤村哲也さん 特別講演

時 13:30～ 場 E棟4階401講義室

日本は漫画・アニメ・ゲームなどの「IP大国」として、世界に誇る数多くのIP(知的財産)を生み出してきました。

本講演では、こうした日本発IPのグローバル映像化の現状を、アジア市場やハリウッドでの展開を事例にひも解きます。また、言語や国境を越えるエンターテインメントの時代において、日本IPがどのように進化し、今後さらにどのような可能性を持ち得るのか、その未来の展望についても考察します。

プロフィール

1953年広島県生まれ。1971年広島県立尾道北高校卒業、1976年慶應義塾大学法学部卒業。

フィロソフィア株式会社代表取締役。ギャガ・コミュニケーションズ(現・ギャガ株式会社)創業者。

漫画・アニメ・ゲームなど日本IPを元にしたハリウッドでの映画・TVシリーズ製作を手がける。世界的に大ヒットしたNetflix『ONE PIECE』実写シリーズではエグゼクティブ・プロデューサーを務める。

同時にエンタメ業界の映画・TVドラマの国際的なコンサルティングサービスを行い、国内外の一流企業をクライアントとして有する。

2017年4月から2026年3月までデジタルハリウッド大学特任(および特命)教授を務める。

